

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
スポーツ社会学 Sport Sociology		2年	後期	金曜日・2時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択（日本体育協会公認スポーツ指導者資格取得者は必修）	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
健康・運動・スポーツに関連する科目。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
運動・スポーツに関する指導者資格取得に必要な科目。				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
鈴 木 由 美		非常勤講師室	金曜 12:10～12:50	授業中に指示します
授業の概要				
スポーツは、現代の社会において国民の健康や文化などに重要な役割を担っている。それらがどのように人々や社会とかかわっているのかについて理解し、特徴や問題点を分析する。				
授業の到達目標				
①スポーツの持つ価値について理解ができるようにする。 ②また、その問題点について分析し、今後のスポーツのあり方について考察ができるようにする。				
授業の方法				
講義形式				
学習の成果				
①スポーツの歴史について理解することができる。 ②現代社会におけるスポーツの役割、価値について理解することができる。 ③現在のスポーツが持つ問題点について理解することができる。 ④これからのスポーツのあり方について考えることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	授業ガイダンス（授業の進め方、受講上の注意、評価について） スポーツ社会学とは何か？			
第2回目	スポーツの歴史			
第3回目	現代社会とスポーツ			
第4回目	生活習慣病とスポーツ			
第5回目	子ども、障害者とスポーツ			
第6回目	スポーツの価値を考える			

第7回目	スポーツをささえる・・・審判の役割	
第8回目	スポーツの施設	
第9回目	消費社会とフィットネスの誕生	
第10回目	ジェンダーとスポーツ① 性役割	
第11回目	ジェンダーとスポーツ② 女性とスポーツ	
第12回目	スポーツと教育	
第13回目	スポーツと薬物（ドーピング、依存症）	
第14回目	試験及びまとめ	
第15回目	スポーツを深く知るために・・・スポーツに関する博物館・美術館・名所	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	すべての授業に出席することが前提。遅刻・早退は1回で欠席1／3回に相当する。授業と関係のない行為（私語、携帯電話の使用、居眠りなど）には退出を求めることもある。
レポート	30%	A=よくできている、B=まあまあできている、C=あまりできていない、D=できていない、で評価
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	50%	100点満点中 S=90-100点、A=80-89点、B=70-79点、C=60-69点、D=59点以下、で評価。
発表内容（態度含む）		
その他		15回すべての授業に出席することが前提であり、正当な理由なく3回以上欠席の場合は評価をEとする。
教科書と参考図書		
教科書：スポーツ白書～スポーツが目指すべき未来～（SSF） 参考書：子どものスポーツライフ・データ2012（SSF）、青少年のスポーツライフ・データ2012（SSF）他 授業担当者より適宜プリント資料を配布する。		
履修上の心得・ルール		
・成績評価の方法と基準を熟知のこと。 ・教科書・ノートを持参のこと。 ・パワーポイント、DVD/ビデオ教材を利用するので前方の席より着席すること。		